



『新NISA制度について』

こんにちは。ファイナンシャル プランナーの中澤です。
今年からNISA制度が改訂されたことで、投資信託や投資の市場もますます活発になってきています。
今回は国の優遇制度の特徴を簡単に、まとめて説明させていただきます。

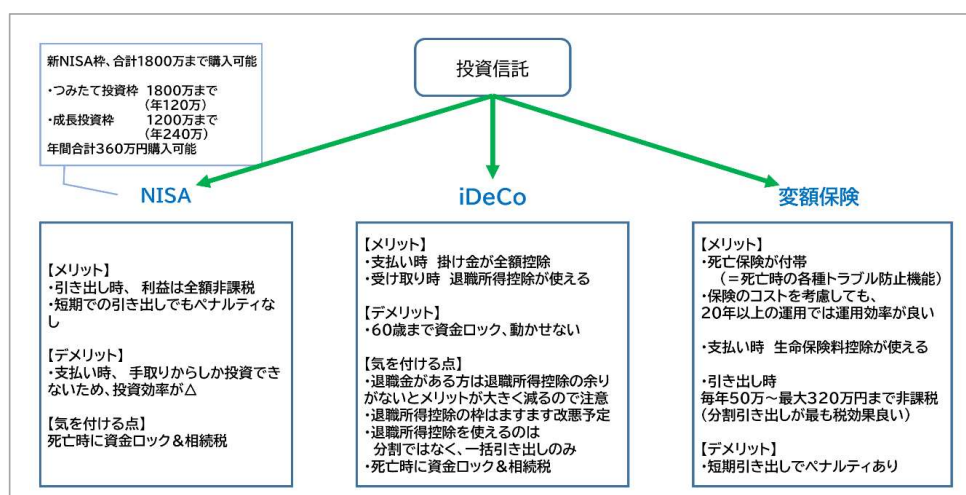
そもそもNISA制度とは？

NISA制度は、単なる投資信託を入れる箱（＝優遇制度）にすぎません。
皆さんが普通に投資信託を購入されると、利益に対して**20%の税金**がかかるところ、
優遇制度を使って投資信託を購入することで、税金面、保障面など、様々な特典が得られます。

3つの箱の違い

NISAを含めて大きく3つの箱（＝優遇制度）があります。
どの箱を使うかによって、付帯する特典が異なります。

それぞれのメリットデメリットや、おすすめのケースについて下の図で解説させていただきます。



各制度のおすすめの利用方法

■NISA…中期的な貯蓄（10～15年）

⇒教育資金や事業資金、生きている間に必ず使い切ってしまうお金

■iDeCo…自営業者や退職金のない方向け。

⇒退職金代わり、60歳以降に一括引き出し

■変額保険…長期的な貯蓄（15年以上）

⇒教育資金や老後資金、途中でご自身に万が一が起きた際にご遺族にすぐに渡したいお金。

まとめ

NISA、iDeCo、変額保険はあくまでも投資信託の入れる箱の違いにすぎません。

①何のための貯蓄か？

⇒運用可能な年数が何年あるのかによって、箱の選び方が変わってきます。

②その箱にどんな投資信託をいれるか？

⇒約3000種類ある投資信託のうち何を選ぶか、**カテゴリー**や各ファンドの運用方針、数%の平均リターンの違いによって資産の未来は大きく変わってきます。

上手な箱、ファンド選びのお手伝いをさせていただきます。

- ・投資に関する相談
- ・保険の見直し
- ・結婚、出産等による環境変化の相談 etc.

お金に関するご相談何でも承ります。
大切なご家族様、ご友人様をご紹介ください。

著 者／中澤 賢一
保有資格／投資診断士 相続診断士
ファイナンシャルプランナー
M A I L / fp.nakazawa.kenichi@gmail.com
T E L / 080-7359-4129